

回復期リハビリテーション病棟は2000年（平成12年）に誕生。その後、私たちの業界は激変の連続であった。たとえば、2002年（平成14年）「個別療法」や、2006年（平成16年）「疾患別リハビリテーション料」の新設。リハ従事者1人につき1日18単位・週108単位の上限が設定され、算定上限日数超え対象者への月13単位の設定、さらには「集団」廃止である。怒涛の中、回復期リハビリテーション病棟は、それらの状況でも回復期としての機能を果たしてきた。2008年（平成20年）、質の評価として「在宅復帰率」や「重症患者割合」基準、2018年（平成30年）「アウトカムの評価（実績指数の導入）」と常に新しい取り組みがされてきた。機能分化されたリハにおい

て、急性期と生活期の橋渡しの存在であり、重要な立ち位置であったことは歪められない事実である。

本号の特集テーマは、「回復期リハビ

リテーションはこれでいいのか？」である。上述したように、発展を遂げてきた回復期リハビリテーション病棟であるが、ここで現場を俯瞰してみたい。実績指数に追われていないだろうか、介入場面はADLばかりに目を向けていないだろうか。リハは、“生活の再建”。対象者の生活スタイルは、個別に応じて多岐にわたる。目標はさまざま。身体機能から精神機能、身の回りから外出、就学から就労、個人から集団、環境、生きがいへ。回復期だからこそ、それらを見据えた「今」がある。今回の特集の論文は、それを考えさせられる。回復期だからこそできること、OTだからできること。回復期リハビリテーション病棟が誕生して20年。これからの20年も作業療法で対象者が輝いてほしい。

（山本伸一）

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 竹内さをり 長野 敏宏
中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	石川 隆志	石原 茂和	伊藤 利之
宇田 薫	内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子
鴨下 賢一	川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静
相良 二郎	櫻井 卓郎	澤田 辰徳	柴田八衣子
島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬	竹中佐江子
田中 栄一	田平 隆行	鶴見 隆彦	豊田 章宏
白鳥 智子	二神 雅一	堀田 聡子	松田 雅弘
松本 琢磨	松元 義彦	三浦 晃	宮崎 宏興
宮本 礼子	村井 千賀	村上 重紀	山根 寛
吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠	

（五十音順）



作業療法ジャーナル VOL.55 NO.10 (Sep.)

2021年9月15日発行（毎月1回15日発行）

定価2,200円（本体2,000円＋税10%）

年ぎめ予約購読料 30,800円（28,000円＋税10%）

（送料弊社負担、増刊号含む）

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

（担当：高野、森山）

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2021, Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。